

横浜市電保存館開館50周年記念事業のお知らせ

昭和48年(1973年)に開館した横浜市電保存館は、今年8月25日に開館50周年を迎えます。

70年に渡って市民の足として親しまれてきた横浜市電が昭和47年(1972年)に廃止されたことを受け、磯子区滝頭の元市電車両修繕工場建物を利用して開館しました。

開館当初は、毎週土曜日のみ開館し、市電の代表的な車両7両と各附属品の展示を行っていた市電保存館は、その後、鉄道模型ジオラマの開設や「しでんほーる」の建設など施設の充実を図り、毎年、約5万人のお客様に楽しんでいただける施設となりました。

開館50周年を迎えるにあたり、市電保存館のこれまでの歩みを振り返るとともに、より一層、お客様に市電保存館を楽しんでいただくため、様々な記念事業を実施します。

今後とも、転換する市営交通の歴史を通じて、みなさまに楽しんでいただける施設となるよう、より一層、尽力してまいります。

1 横浜市電保存館開館50周年記念特設サイトオープン



期間：令和5年3月15日(水)公開

概要：横浜市電保存館のこれまでの歩みや今後予定されている各種イベントについてお知らせします。

URL：<https://www.kyouryokukai.or.jp/shidenhonzonkan50years/>

2 市電シミュレーター特別仕様登場



期間：令和5年4月1日(土)～6月末予定

概要：好評いただいている市電シミュレーターをパワーアップ！

実際に市電で使用していた運転台で、プロジェクターに投影した街の中、臨場感溢れる運転をお楽しみ下さい。



市電シミュレーター特別仕様

3 横浜市電保存館開館 50 周年記念写真展 第 1 弾「横浜市電保存館今昔写真展」



期間：令和 5 年 4 月上旬～9 月末日

場所：横浜市電保存館 多目的コーナー

概要：昭和 47 年に廃止された市電車両が、市電保存館での展示を待つ姿や、開館当日の式典の様子を収めた写真を展示します。また、展示車両の現役時代の貴重な写真も登場予定ですのでお楽しみに！

協力：しでんの学校

撮影：竹中洋一氏



昭和 47 年 市電廃止後の滝頭車庫



昭和 48 年 市電保存館開館時

4 鉄道ジオラマコーナーリニューアル



期間：令和 5 年 7 月完成予定

概要：約 40 年に渡りご愛顧いただきました鉄道ジオラマコーナーをリニューアルします。

映像や音響、照明を活用した魅力的なジオラマの登場にご期待ください。

リニューアルにあたり、**令和 5 年 4 月より現在の 0 ゲージ鉄道ジオラマコーナーを閉鎖いたします。**最後の雄姿を見納めにご来館下さい。なお、Nゲージは引き続きお楽しみいただけます。



現在の 0 ゲージ鉄道ジオラマ

5 横浜市電保存館開館 50 周年記念講座



期間：第 1 弾 令和 5 年 8 月、第 2 弾 12 月頃予定

場所：しでんほーる

概要：第 1 弾 横浜市電について（予定）

第 2 弾 横浜市営地下鉄について（予定）

上記事業につきましては日程等変更となる場合があります。詳細は特設サイト内にてご案内してまいります。

問合せ先

一般財団法人横浜市交通局協力会 横浜市電保存館 館長 北村 秀明 TEL045-754-8505

開館時間 9:30～17:00（入館は 16:30 まで）

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）※3月27日は開館